

LTI Deep Linkingの概要

Deep Linking とは何ですか？

Deep Linking は、LTIツールのリンクを設定するプロセスを合理化する新しいメッセージタイプを追加することによって、LTIツールボックスを拡張し、LTI対応製品とのより深い統合を可能にする推奨アップグレードです。この新しいメッセージタイプは、内部ツールが表示するのと同じように、外部（LTI）ツールの表示を可能にします。Deep Linkingを使用すると、カスタム統合を行うための主な理由がなくなります。Deep Linkingはツールコンシューマの中に（LTIリンクを含む）コンテンツ作成するプロセスを実行するようにツールプロバイダに許可する新しいメッセージタイプを追加します。これは、ツールコンシューマ内にあるツールが講師のユーザーエクスペリエンスを大幅に向上させ、内部および外部（LTI）ツールとの違いを最小限に抑え、コースをいかに追加するか、ワークフローがより密接に組み合わせることを可能にします。

どのような教育的なユースケースが標準でサポートされていますか？

LTIツールのリンクがコースに追加されると、講師には、アクティビティやコンテンツを設定するために、ツールプロバイダからのページが表示されます。すでに設定され、使用する準備ができていたその項目が、コースページに保存されている場合に、2段階のプロセスだったものが、1つのステップに組み合わされます。メッセージはまた、ツールコンシューマに他のタイプのコンテンツを追加するために使用することができます。詳細は、[仕様](#)を参照してください。

誰にとってこれが重要でしょうか？

指導技術スタッフと講師は、学生に配信するコンテンツの準備と設定に責任を持ちます。

どの問題が解決されましたか？

LTIツールリンクを設定する時間と複雑さを軽減し、サードパーティのコンテンツをツールコンシューマに追加するプロセスを合理化します。

標準の機能や新機能は何ですか？

- ツールコンシューマの中に、サードパーティのコンテンツを追加するための新しいワークフローを提供します
- 起動メッセージに似た別のメッセージ・タイプとして実装
- 多種多様なコンテンツタイプがサポートされています（例えばLTIリンク、Webリンク、画像、ファイルへのリンク、静的なHTMLのような）；サポートされるタイプは、ツールコンシューマによって制御されています
- LTIリンクは、カスタムパラメータを事前に構成することができます
- すべてのトランザクションは、最新のLTIメソッドによって保護されています

通常のプロセスフローとは何ですか？

Deep Linkingメッセージのワークフローは、通常、ツールコンシューマのアプリケーションから始まり、3つのステップがあります。

ツールコンシューマのツールプロバイダへの要求

- ユーザーが、サードパーティのコンテンツを追加するオプションを選択すると、それらは、ブラウザを介してツールプロバイダにリダイレクトされます。

ツールプロバイダでのコンテンツの選択

- ツールプロバイダは、ユーザがを見つけ、ツールコンシューマに配置されたリンク（またはリンク）に関連付けられる1つまたは複数の項目を選択し、設定することが可能なインターフェースを提供します。

ツールプロバイダのツールコンシューマへの応答

- ユーザーのブラウザは、選択した項目の詳細をツールコンシューマにリダイレクトします。

これはアップデートを行いますか、または1つあるいは複数の既存の仕様を置き換えますか？

いいえ、Deep LinkingはLTIリンクとツールコンシューマに他のタイプのコンテンツを作成するために新しいワークフローを提供します。

どのような追加情報が、Deep Linkingについて重要ですか？

Deep Linkingは、LTIサービスとは区別された「LTIメッセージ」です。違いは、メッセージがブラウザセッションを介してエンドユーザーが別のアプリケーションにリダイレクトすることを含みます。LTIサービスは、アクティブなブラウザセッションなしのサーバー間のプロセスとして定義されています。

This page contains trademarks of the IMS Global Learning Consortium including the IMS Logos, Learning Tools Interoperability® (LTI®), Accessible Portable Item Protocol® (APIP®), Question and Test Interoperability® (QTI®), Common Cartridge® (CC®), AccessForAll™, OneRoster®, Caliper Analytics®, SensorAPI™ and Competencies and Academic Standards Exchange® (CASE®). For more information on the IMS trademark usage policy see [trademark policy page](#)

